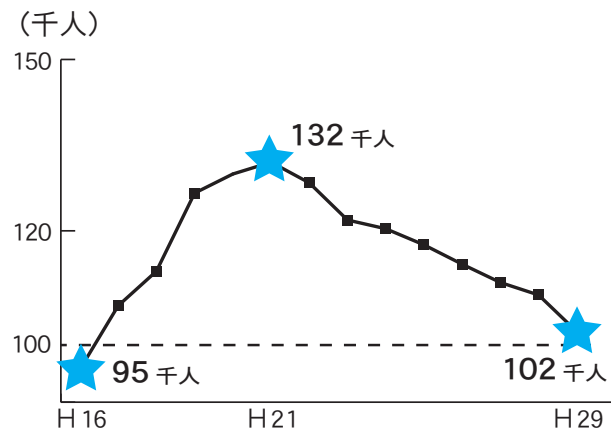
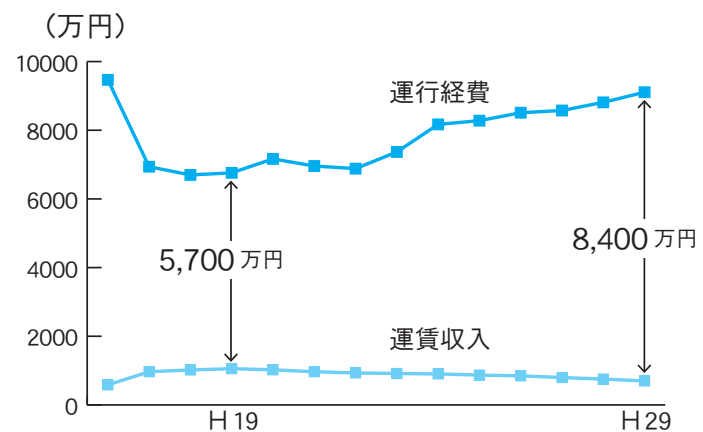


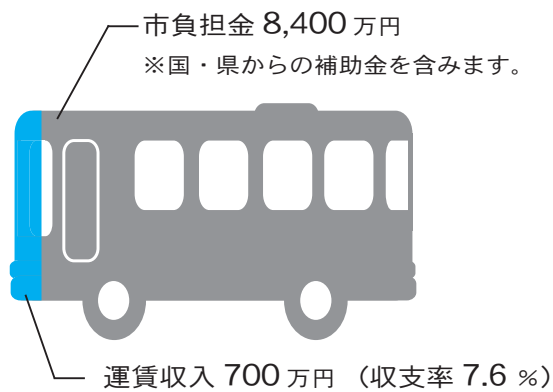
市営バスの乗車人数の推移



市営バスの運行経費と運賃収入の推移



市営バスの収支率 (平成 29 年度)



▼減る利用者、増える赤字

平成16年4月、阿賀野市誕生と同時に市営バスは運行を開始しました。運行開始後しばらくの間は利用者数を順調に伸ばし、平成21年度には13万2千人を記録。しかし、平成22年度からは減少が続く。平成29年度は10万2千人、平成16年度に次いで過去2番目に少ない利用者数となりました。利用者数に比例して、運賃収入も年々減少しています。その一方で運行に必要な経費は年々増加。運行開始から15年が経過し、車両の入れ替えや高額な修繕が必要になってきていることが大きな要因です。

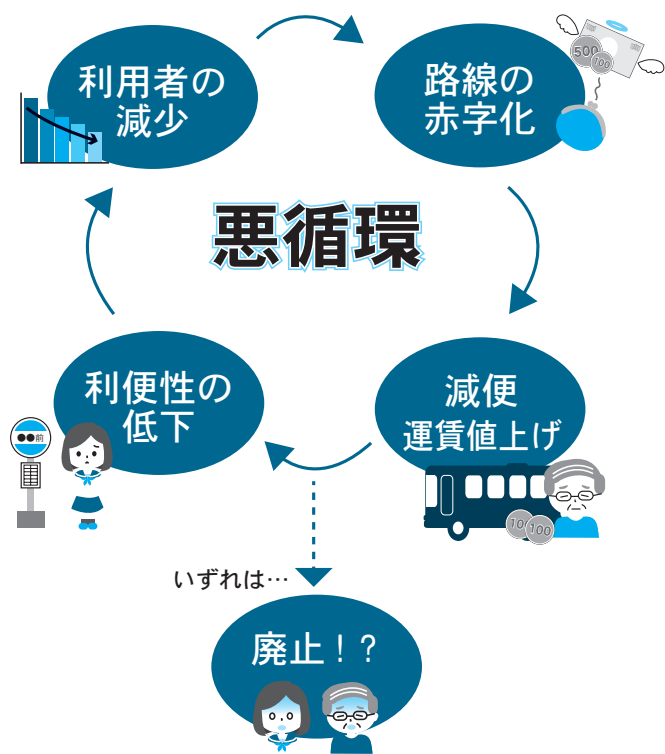
▼悪循環に陥らないためには

市営バスに限らず、全国的に路線バスの運営状況は厳しい状況にあります。国土交通省が平成29年11月に発表した「乗合バス事業者の収支状況」によると、運賃収入だけで運行経費を賄っている路線バス事業者は36%。つまり、6割以上の事業者は赤字なのです。人口が少ない地方都市では状況がより深刻で、実に8割以上の事業者が赤字となっています。この赤字を解消するため、民間事業者や他の自治体では、減便や運賃の値上げ、路線の廃止などが相次いで行われています。

しかし、これでは根本的な解決になっていません。上の図からも分かるように、利便性が低下すれば利用者は離れ、路線の赤字が膨らむという悪循環に陥ってしまうからです。

この悪循環に陥らないためには、一人でも多くの人から利用してもらうことが必要です。

【路線バスの悪循環イメージ】



特集

数字で見る公共交通

～「あるもの」から「残すもの」へ～

皆さんはいつ公共交通を利用しましたか。「学生時代はよく利用したけれど、最近は利用していない」という人は多いと思います。家族も含めて公共交通を利用していない人にとって、今それがなくなっても大きな影響はないでしょう。ただ、運転免許証を返納した後や、子どもが進学して学校に通うようになったときは、どうでしょうか。

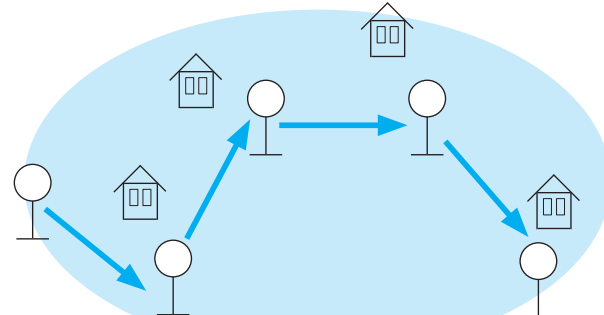
学生や高齢者、障がいのある人など、自分で運転できない人にとって、公共交通は通学や通院、買い物などに不可欠なものです。しかし、利用者が年々減少し、維持することが困難な状況になりつつあります。今回の特集では、公共交通に関する現状と市の取り組みについて紹介し、公共交通を残していくために必要なことを考えます。

利用しやすい デマンド交通に

効率的で便利な公共交通を目指し、平成 29 年 12 月から実証運行を開始したデマンド交通（予約制のバス）。ただ、デマンド交通に対する利用者の反応は、よくありませんでした。なぜでしょうか？ 今後の改善策は？

◎定時定路線型

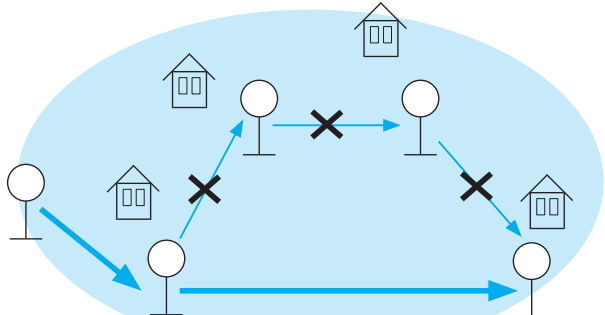
決められた時間に、決められた経路を運行



予約…不要、便数…少ない、到着…遅い

◎デマンド型

予約のあった停留所間を最短経路で運行



予約…必要、便数…多い、到着…早い

デマンド交通導入の効果（1日当たり）

利用者数は？	9人 減少
運賃収入は？	約 800円 減少
運行便数は？	3.3便 減少
走行距離は？	54km 短縮
所要時間は？	約 3時間 短縮
運行経費は？	約 5,500円 減少



総務課 小菅主事

▼予約に対する抵抗感
平成 29 年 12 月から大室線と駒林線で、デマンド交通の実証運行を開始しました。一般的な路線バスは、決められた時間に、決められたルートを運行する「定時定路線型」です。一方、実証運行では、予約のあった停留所だけに停車する「デマンド型」をほぼ全ての便で採用しました。

デマンド交通は、予約のあった停留所間を最短経路で運行するため、走行距離や所要時間が短くなります。さらに、予約のない便は運行しないため、運行便数が減り、経費削減の効果が期待できます。ただ、利用者からすると、目的地に早く到着できるものの、予約する負担が大きくなることから、両路線とも 2 便ずつ増やすとともに、サムズウオロク水原店前に停留所を新設し、利便性を高め実施しました。実施から約 3 か月後の 2 月下旬、対象路線のバス利用者にアンケート調査を実施。併せて 12 月～2 月の利用者数や運行便数、走行距離などの分析を行いました。

この方法を続けることで一時的に収支は改善しますが、利用者の減少を招くことにはなっていないと回答。「定時定路線型がよい」と答えた理由は、ほぼ全員が「予約なく好きなときに乗れるから」。利用日当日の予約はできないこともあり、予約に対する抵抗感は想定以上に大きいものでした。前年度同月の比較では、利用者数が 2 路線合計で 1 日当たり 9 人減少しました。

一方、経費削減の効果は期待通りとなりました。運賃収入は 1 日当たり約 800 円減少しましたが、運行便数は 3.3 便減少、走行距離は 54 キロメートル短縮、所要時間は約 3 時間短縮したため、運行経費が約 5,500 円減少。1 日当たり約 4,700 円の収支改善につながりました。1 年間では 113 万円程度の改善が見込まれます。

▼進化したデマンド交通
この方法を続けることで一時的に収支は改善しますが、利用者の減少を招くことにはなっていないと回答。「定時定路線型がよい」と答えた理由は、ほぼ全員が「予約なく好きなときに乗れるから」。利用日当日の予約はできないこともあり、予約に対する抵抗感は想定以上に大きいものでした。前年度同月の比較では、利用者数が 2 路線合計で 1 日当たり 9 人減少しました。

市営バスを初めて利用する人へ

市営バスの基礎知識

その 1 運賃は
乗車 1 回
ワンコイン！



【運賃】

- 中学生以上 : 100 円
- 小学生 : 50 円
- 小学校就学前 : 無料

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、新潟水俣病の受診証を持っている人は、乗車時に提示すれば無料です。

その 2 バス停留所は
約 330 箇所

市内のほぼ全域を網羅しています。バス停留所の新設や変更の希望があればご相談ください。



その 3 時刻表の配布場所

市役所・各支所、あがの市民病院、宝珠温泉保養センターあかまつ荘、リズム・ハウス瓢湖、保健福祉センター京和荘、市立図書館
※市ホームページにも掲載

その 4 お盆と年末年始は
運休します

お盆（8月13日～16日）と年末年始（12月29日～1月3日）は、全ての市営バスが運休になります。一部の便を除き、ほとんどの便は平日のみの運行です。

10月1日～マイ時刻表 作成サービスを開始します！

マイ時刻表とは、利用する区間のバス時刻だけが書いてある自分専用の時刻表です。時刻表が複雑で使い方が分からない人、乗り継ぎ方法を知りたい人、利用する区間や時間帯が決まっている人は、ぜひご利用ください。誰でも無料で作成します。

◎申込方法

「住所、氏名、電話番号、出発地、目的地、利用時間帯」を次のいずれかの方法で総務課庶務係へ連絡してください。1週間程度で自宅に郵送します。

電話：61-2471
FAX：62-0281
電子メール：somu@city.agano.niigata.jp

マイ時刻表のサンプル

出発地 大野地 目的地 阿賀野市役所

行き	
寺社線 大野地 08:43 発 10:57 発 15:37 発	阿賀野市役所 08:57 着 11:11 着 15:51 着

帰り	
寺社線 阿賀野市役所 09:15 発 11:25 発 13:25 発	大野地 09:28 着 11:38 着 13:38 着

市外へ行くにも公共交通を使おう

市外への移動は、鉄道や民間路線バスが担っています。特に水原駅周辺は、新潟市へ向かうための駅とバス停留所が近くにあり、無料のパークアンドライド駐車場も整備されています。

市外への公共交通網マップ



【パークアンドライドとは?】
最寄りの駅やバス停留所にある駐車場まで自家用車などで行き、公共交通を利用して目的地に向かう方法。自家用車と公共交通を組み合わせ、自宅近くに公共交通がなくても、電車やバス等を利用できます。
市内の各駅と、安田インターチェンジに整備されています。

公共交通を残していくために

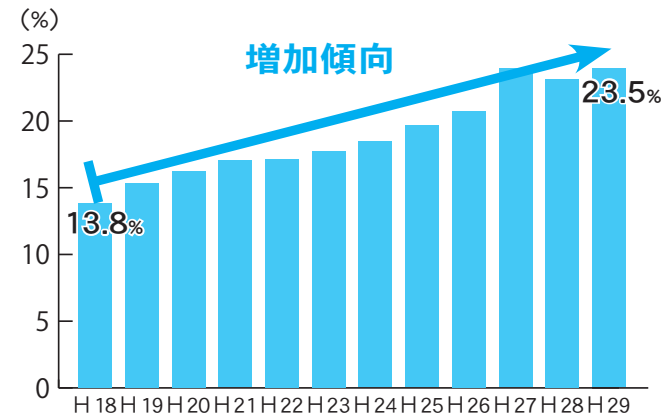
国立社会保障・人口問題研究所が公表した阿賀野市の将来推計人口は、2040年には3万772人となり、今よりも1万人以上減少します。一方で、免許返納者が多い75歳以上の人口は、1500人近く増加し、公共交通の重要性は増していくでしょう。
いずれ自分が公共交通を利用したいと思ったときに利用できるようなものには、今の公共交通を持続可能なものにしなければなりません。そのためにできる第一歩は、公共交通の現状と課題を認識すること、そして1回でも多く公共交通を利用することです。
市では、市民の皆さんの声やデマンド交通実証運行の検証をもとに、さまざまな可能性を検討しながら、市営バスがより魅力的で、利用しやすい公共交通となるよう運行方法を考えていきます。
市民の皆さんも公共交通を利用することで、普段は自動車を運転している時間が、好きな本を読む時間、景色を楽しむ時間、ゆつくりと物事を考える時間になります。
将来に向けて公共交通を残していくため、一緒に支えていきましょう。

問い合わせ
総務課 庶務係
☎ 62・2510 (内線2244)

免許返納という選択

「免許証を返納したら、どこにも行けなくなる」と考えている高齢者は多いと思います。しかし、運転に不安を感じたら免許返納の時期かもしれません。

高齢者が第一当事者である事故割合の推移



▼75歳以上は免許更新が困難
県内の交通事故の発生件数は、年々減少していますが、高齢者が第一当事者(当事者の中で最も過失が重い人)である事故の割合は増加傾向にあります。これは、高齢者の認知機能が低下していることが大きな要因と考えられています。
そこで、75歳以上の高齢者は、運転免許証の更新のときや、信号無視・通行禁止道路の通行など認知機能の低下が疑われる違反行為をしたときは、認知症機能検査を

▼事故を起こす前に相談を
自分や家族の運転に不安を感じたら、新潟県運転免許センターにある「運転適性相談窓口」(☎025・256・1212)に相談することをお勧めします。
受けることが義務付けられています。この検査で「認知症の恐れがある」と判定された人は、医師の診断を受けることになり、診断の結果、認知症と判明した場合は、運転免許取り消しの対象となります。

高齢者の運転免許証の自主返納を支援します!

市では、高齢者の交通事故防止のため、自主的に運転免許証を返納する人を支援しています。
平成29年度は、120人がこの制度を利用しました。

- ◎支援内容
- 市営バス
バス運賃が無料(2年間)
 - 市内のタクシー
タクシー利用券を5千円分(2年間有効)
タクシー運賃が1割引き(無期限)



車の維持費を計算したことはありますか?

150万円の軽自動車(新車)を9年間使用する場合

費目	月額	算出方法
車両購入費	13,889円	150万円÷108か月
軽自動車税	900円	10,800円÷12か月
車検費用	2,778円	10万円×3回÷108か月
任意保険料	5,000円	6万円÷12か月
ガソリン代	1,000円	1,000円/月
消耗品(タイヤ・オイルなど)	1,852円	20万円÷108か月
駐車場代	0円	自宅に駐車
合計	25,419円	

市営バスとタクシーを月10回使用する場合

費目	月額	算出方法
市営バス運賃	1,000円	100円×10回
タクシー運賃	15,000円	1,500円×10回
合計	16,000円	約10,000円もお得!

さらに、運転免許証を自主返納をすれば…

費目	月額	算出方法
市営バス運賃	0円	2年間は無料
タクシー運賃	13,500円	1,500円×10回×0.9
合計	13,500円	タクシー利用券5,000円分も交付されます。

※この計算はあくまで一例です。